

そろそろ朝夕冷え込む季節になりました。北の方からは雪の便りが届くころでしょうか。毎朝、テレビの天気予報を頼りに適切な服装を選ばなければ、寒くて辛い思いをすることになります。天気予報などの情報や経験から「今日はコートを持って出かける」といった解答が得られます。このように思案することも、一種のシミュレーションです。今月は、「鉄道のシミュレーション技術」について特集しました。コンピューターの性能向上は飛躍的に進み、津波解析やトンネル火災など実験では再現が困難な現象までシミュレーションにより表現可能となります。

ただ、気を付けなければならないことは、答えが求められたとしてもそれが本当に正しいものかを見定める知識や経験が不可欠となります。実現象や試験結果との比較検証も十分なされて信頼性の高いシミュレーション結果をもとに、鉄道のさまざまな問題について解き明かすことが期待されます。

さて、次号は、「鉄道総研の実験所」を特集します。これまで鉄道のさまざまな分野の研究開発において多くの成果をあげるためになくてはならない実験所について、その歴史と役割、最近の成果を紹介します。どうぞご期待下さい。(M.T.)